

## 助成事業実施報告書

団体名 無料学習塾 日野すみれ塾

代表者・役職名 氏名 仁藤 夏子

### ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

### 1. 助成プロジェクト名

社会科学見学、余暇活動からみえる未来の自分プロジェクト

### 2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

経済的な事情などで有料塾に通えない小、中学生を対象にしたボランティア講師による無料塾活動をしています。小学生クラス10名、中学生クラス13名の生徒が在籍しています。

### 3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

当団体は主に学習支援をおこなっています。活動していくなかで教育格差とあわせて社会体験の格差を感じるようになった。学習支援とあわせて社会科学見学や生きる目的となる余暇活動などが必要であり今回のプロジェクトで子供たちに社会の楽しさや生きていくことの楽しさを感じてもらいたい。

### 4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

- ・生徒たちがどんな大人になりたいか、どんな仕事につきたいかわくわくしながら想像できる会社に社会科学見学に行き将来の目標を明確にしていく
- ・卒業遠足→コロナのため中止となり青空卒業式を実施

### 5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

子供たちにいろんな世界をみせることはこれほどにも子供たちの成長になるのかと実感した一年でした。特に入塾の面談時に目が死んでいる印象を持った生徒がいた。生きる目的を失っていたように思う。私はその生徒に「君が思っている以上に大人になるのは楽しい」と伝えLINE株式会社さんへの見学も実現した。その生徒はどんどん目の輝きが変わっていった。驚くほどだ…。なりたい大人のイメージをつけることができたその生徒は立川高校に進学を希望し見事に合格してみせた。ただ勉強しろというよりも子供たちにとって本当に大切な事業だと思う。

### 6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

ただ「勉強をしろ」というのは作業にすぎないと感じます。コロナの中ではありますが今後も社会体験事業を充実させたいと思っています。「百聞は一見に如かず」子供たちが目でみて体験することで自分がどんな大人になりたいか、どんな知識を得て社会に還元していくか?を事業を通して伝えたいと感じます。

### 7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり 特になし

